

様式1 (大学生等用)

森林自己学習活動実施計画書 (変更)

(1) 事業実施主体代表者 ※学生証 (写) 構成員名簿を添付	所 属	学部・専攻	氏 名
(2) プロジェクト名称 又は学習のテーマ・			
(3) プロジェクト目的 又は学習の目的			
(4) 指導者 (該当者がいる場合)  ※必須ではありませんができる限り指導者による指導を受けてください。	所 属	役職・氏名	
	所 在 地		電 話 番 号
(5) 活動期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
(6) 活動計画  ※地域活動、成果等の発信の方法を含めて記載。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象地域 :</li> <li>・ 活動内容</li> </ul>		
(7) 経費総括	事業費 (円)	補助金 (円)	その他 (円)

(8)経費内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費 円</li> <li>・旅 費 円</li> <li>・需用費 円</li> <li>・役務費 円</li> <li>・委託料 円</li> <li>・使用料及び賃借料 円</li> <li>・その他（具体的に記載） 円</li> </ul> <hr/> <p style="text-align: right;">合計 円</p> <p>(補助金： 円、自己負担 円)</p>
担当者氏名	
住所	〒
電話・FAX	
E-mail	PC： 携帯：

- 注1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とし、縦長に使用すること。
- 2 文字は、明朝体12ポイント、楷書体を標準とする。また、手書きによる場合は、万年筆又はボールペン（消せるタイプを除く。）の黒のインクを使用し、楷書体で記載すること。
- 3 代表者の学生証（写）、構成員名簿（別記参考様式）を添付すること。
- 4 福島県以外に所在する大学校等に所属する者の場合は、福島県内の市町村等が作成する事業計画書等で参加が確認できる資料を添付すること。
- 5 委託料、使用料及び賃借料、並びに資機材の購入（需用費）を計画している場合は、別紙（任意様式）にその必要性（品名、数量、合計金額）を記載し、見積書、料金表、カタログ等を添付すること。
- 6 変更を行う場合は、変更前と変更後が対比できるよう、変更箇所を朱書きで、上下2段書きで作成する。
- 7 E-mailは、ドメイン指定受信を設定している場合は、@pref.fukushima.lg.jpからの受信を許可すること。

別記（参考様式）

構成員名簿

No	所属	学部・専攻	氏名	プロジェクト 内での役割
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

様式2

森林自己学習支援事業実施計画書（変更）

補助事業者名

1 事業計画

(1) 事業費

事業区分	事業費 (円)	負担区分(円)		備考
		県交付金	その他	
1 森林自己学習活動				
2 自己学習支援				
計				

(2) 事業実施予定期間

年 月 日 ~ 年 月 日

(3) 事業内容

※事業を実施する上での目標、支援内容等を簡潔かつ具体的に記述すること。

(4) 事業費の算出基礎

区分	金額 (円)	経費内訳 (円)						
		報償費	旅費	需用費	役務費	委託料	使用料 及び賃借料	その他
1 森林自己 学習活動								
2 自己学習 支援								

- ※1 規約、構成員名簿等を添付すること。
- 2 森林自己学習活動内訳表（別添内訳表1）を添付すること。
- 3 事業費算出の根拠となる資料を添付すること。
- 4 委託料、使用料及び賃借料、並びに資機材の購入（需用費）を計画している場合は、別紙（任意様式）にその必要性（品名、数量、合計金額）を記載し、見積書、料金表、カタログ等を添付すること。
- 5 変更を行う場合は、変更前と変更後が対比できるように、変更箇所を朱書きで、上下2段書きで作成する。

(別添内訳表 1) 森林自己学習活動内訳表

	事業実施主体代表者 ( 所 属 )	プロジェクト名称又は学習のテーマ	事業費 (円)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
計			

※様式 1 「森林自己学習支援事業実施計画書」を添付すること。

様式 3

記 号 番 号  
年 月 日

福 島 県 知 事  
(福島県農林水産部長)

補助事業者 所 在 地  
名 称  
代表者氏名 ⑩  
連 絡 先 ( )

森林自己学習支援事業実施計画（変更）承認申請書

福島県森林自己学習支援事業実施要領第 3 の規定により承認を受けたいので、下記の通り関係書類を添えて申請します。

記

- 1 事業実施計画書  
別紙（様式 2）のとおり

注 1 用紙の大きさは、日本工業規格 A 列 4 番とし、縦長に使用すること。

2 文字は、明朝体 12 ポイント、楷書体を標準とする。また、手書きによる場合は、万年筆又はボールペン（消せるタイプを除く。）の黒のインクを使用し、楷書体で記載すること。

(補助事業者)

福島県農林水産部長

森林自己学習支援事業実施計画（変更）の承認について

年 月 日付けで申請のありました森林自己学習支援事業実施計画（変更）について承認し、下記のとおり補助金を交付する見込みですので、福島県森林自己学習支援事業補助金交付要綱第3条の規定する補助金交付申請書を 年 月 日までに提出してください。

記

区 分	事業量	事業費 (円)	補助金額 (円)	備 考
1 森林自己学習活動				
2 自己学習活動支援				
合 計				

様式 5

記 号 番 号  
年 月 日

福島県知事

補助事業者 所在地  
名 称  
代表者氏名 (印)  
連絡先 ( )

森林自己学習支援事業実施計画変更届

年 月 日付けで承認された事業実施計画を変更したいので、下記のとおり  
届け出ます。

記

1 変更理由

2 事業実施計画書  
別紙（様式2）のとおり

注) 変更の内容が容易に比較できるよう、変更前を ( ) 朱書きとし2段書きとする。  
また、必要に応じて関係書類を添付すること。



様式6

森林自己学習支援事業実績報告書

補助事業者

1 事業計画

(1) 事業費

事業区分	事業費 (円)	負担区分(円)		備考
		県交付金	その他	
1 森林自己学習活動				
2 自己学習活動支援				

(2) 事業実施期間

年 月 日 ~ 年 月 日

(3) 事業内容及び事業の効果

※事業を実施する上での目標を簡潔かつ具体的に記述すること。

(4) 事業費の精算

区分	金額 (円)	経費内訳 (円)						
		報償費	旅費	需用費	役務費	委託料	使用料 及び賃借料	その他
1 森林自己 学習活動								
2 自己学習 支援								

- ※1 森林自己学習活動については、別添内訳表1を添付すること。
- 2 事業費の根拠資料（精算書、領収証、契約書等の写）を添付すること。
- 3 活動において作成した資料、活動状況写真、活動報告書等を添付。

(別添内訳表1) 森林自己学習活動内訳表

	事業実施主体代表者 ( 所 属 )	プロジェクト名称又は学習のテーマ	事業費 (円)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
計			

※様式8「森林自己学習支援事業実施報告書」を添付すること。

様式 7

森林自己学習支援事業実績報告書

(1) 事業実施主体代表者	所 属	学部・専攻	氏 名
(2) プロジェクト名称 又は学習のテーマ・			
(3) 活動期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
(4) 活動の概要			
(5) 活動の報告			
(6) 経費総括	事業費 (円)	補助金 (円)	その他 (円)
(7) 経費内訳	・ 報償費		円
	・ 旅 費		円
	・ 需用費		円
	・ 役務費		円
	・ 委託料		円
	・ 使用料		円
	・ 賃借料		円
	・ その他 (具体的に記載)		円
	合計		円
	(補助金： 円、自己負担 円)		
担当者氏名			
住所	〒		
電話・FAX			
E-mail			

- 注 1 活動において作成した資料、活動状況写真、活動報告書等を添付。  
 2 事業費の根拠資料 (精算書、領収証、契約書等の写) を添付すること。  
 3 用紙の大きさは、日本工業規格 A 列 4 番とし、縦長に使用すること。  
 4 文字は、明朝体 12 ポイント、楷書体を標準とする。また、手書きによる場合は、万年筆又はボールペン (消せるタイプを除く。) の黒のインクを使用し、楷書体で記載すること。